

# 知って備える防災メモ

第27回



**自分たちの地域は自分たちで守る**

〜育てよう地域の力『自主防災組織』〜

災害が発生したときは、被害が大きくなるほど、行政機関による個別の対応が困難になることが予想されます。

そこで、地域の皆さんが日頃から協力し合い、防災活動に取り組み『自主防災組織』が被害を最小限に抑える大きな力となります。



## 自主防災組織とは

自主防災組織は、地域の皆さんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識と強い連帯感を持ち、自ら防災活動を行う組織のことです。

## 自主防災組織の主な活動内容

**平常時** 防災訓練や防災に関する講習会の実施、地域の災害危険箇所の確認、防災資機材の整備・点検など

**災害時** 災害情報の伝達、地域住民の安否確認、避難所への避難誘導、避難所での炊き出し活動など

## 自主防災組織の設立状況

現在、市内では31の自主防災組織が設立されています。

未設立の地域は、自主防災組織を設立し、地域防災力の向上を目指しましょう。

## 防災資機材購入整備費補助金をご利用ください

この補助金は、自主防災組織の設立や防災活動を促すため、必要な資機材を購入する自主防災組織に対して交付するものです。

**補助限度額** 自主防災組織加入世帯数により決定

**補助対象となる防災資機材** 発電機、投光器、消火器、リヤカー、炊飯器など

## 問い合わせ

総務グループ

(☎) 1130

人が輝き まちがときめく

# 仲間たち

Group

## 登別身体障害者福祉協会

『登別身体障害者福祉協会』は、体に障がいのある方の社会参加や会員同士の交流・親睦を図ることを目的に、昭和46年に結成されました。

現在、会員は30歳代から80歳代までの約100人。しんた21や鉄南ふれあいセンターを中心に、レクリエーションのほか、市民に障がいへの理解を深めてもらう活動を展開しています。

「障がいのある方は、外出する機会が少ない傾向にあります。まずは健康維持のためにも外に出てもらうため、会員が集う場を設け、コミュニケーションを図ることを心掛けています」と話すのは、会長の今順子<sup>いまのりこ</sup>さん。

「会では、パークゴルフ三市交流会（室蘭市・伊達市・登別



▲パラリンピックの正式種目にもなっているボッチャを楽しむ会員の皆さん

障がいへの理解が一層広がるよう活動の輪を広げていきたい

今さんは、障がいのある方だけではなく、幅広い市民に会への参加を呼び掛けます。

「障がいのある方や家族が地域で孤立することのないよう、市民の皆さんに障がいへの理解を一層深めていただきたいながら、私たちも活動していきたいですね」と力強く話してくれました。入会を希望する方は、今さんまで。

(☎) 090-1863218099

## 講義と見学で歴史に 理解を深める

「自然や生き物、食品表示など、さまざまな講座を受講してきました。社会見学の講座では、市内をはじめ、西胆振地域の歴史的建築物を見学したのが印象深いですね。普段、なかなか入ることのできない貴重な建築物を身近に感じることができて新鮮な気持ちになりました。ほかに、供用を控えたキウシト湿原に関する講座では、講義だけではなく、実際に現地を見ることが、より理解が深まりました」と笑顔で話す安達陽子さん。

受講生は、登別ときめき大学が主催する講座『基礎コース』のほか、市内で開催されるさまざまな講演会や体験学習会のうち、学習情報として同大学から提供されるものを『連携コース』として受講することができます。

「市主催の古文書教室では、学習を重ねていくうちに、難解そうに見える古文書を読むことができた喜びがありました。講義だけではなく、郷土資料館に展示されている片倉家の古文書も見学しながら学習を進めましたが、今後は読み方や言葉の意味に加え、その古文書に込められた思いも感じ取っ



▲学士の認定証を受け取る安達さん（右）

## 市民が関心のある分野の 講座を企画したい

何かをしてみたいと思い、ボランティア活動をしていた仲間と一緒に、登別ときめき大学の門をくぐった安達さん。

「時間の許す限り、興味のある講座を受講してきた結果、学士を取得することができました。今は大学の運営委員として、講座の企画づくりに関わらせてもらっています。悪質商法や特殊詐欺など、市民の皆さんが関心のある分野の講座を企画していきたいですね。自分も楽しみながら、これからも登別ときめき大学で学びます」と学習の抱負を話す安達さんは、今日も新たな知識との出合いを楽しみにしています。



KIRARI

あ だち よう こ

## 安達陽子 さん(新川町)

登別市ときめき大学と登別市婦人短期大学を統合し、平成23年度に誕生した『登別ときめき大学』。年齢を問わず学ぶことのできる市民大学として、多くの市民が社会・経済・文化・歴史など、さまざまな分野をテーマに多彩な講座を受講しています。

このたび、平成24年度から受講している安達陽子さんが、受講3年目で200単位を取得し、同大学で初めてとなる学士に認定されました。

安達さんに、受講の感想やこれからの目標などを聞きました。

## 自分も楽しみながら これからも学び続け たい



昭和15年、虻田郡倶知安町生まれ。74歳。

昭和48年、登別市に転入。これまで町内会や消費者協会の活動のほか、食生活改善推進員を務めるなど、地域のさまざまな活動に積極的に関わっている。